

北広島 地域交通レター



北広島市内には路線バスや鉄道などの公共交通が運行されていない「交通空白地域」が存在します。今後も進む高齢社会の中で、「くらしの支え」となる公共交通がより充実し、市民の方々がより安心して生活できるまちづくりを進めていくことは極めて重要なことです。

このことから、北広島市では、交通事業者・関係者等と地域の連携による交通体系の構築を目指し、本年3月に「北広島市地域公共交通総合連携計画」を策定しました。

現在、この計画に基づく①交通空白地域の足の確保、②高齢社会に対応した交通体系の確立、③暮らしを支える持続可能な公共交通の確保の3つの目標を達成するため、各種事業を実施しています。

12月1日から乗合タクシーを実証運行!

利用料金300円(1人1回)

市では、交通空白(路線バス等の公共交通が運行されていない)地域において、高齢者の方の「買物」、「通院」などの日常生活に必要不可欠な「地域の足」を確保するため、乗合タクシーの実証運行を行います。

◆乗合タクシーとは?

通常のタクシーとは異なり、事前に予約いただき、他の人との乗り合わせで運行するタクシーです。

◆乗合タクシーの特徴は?

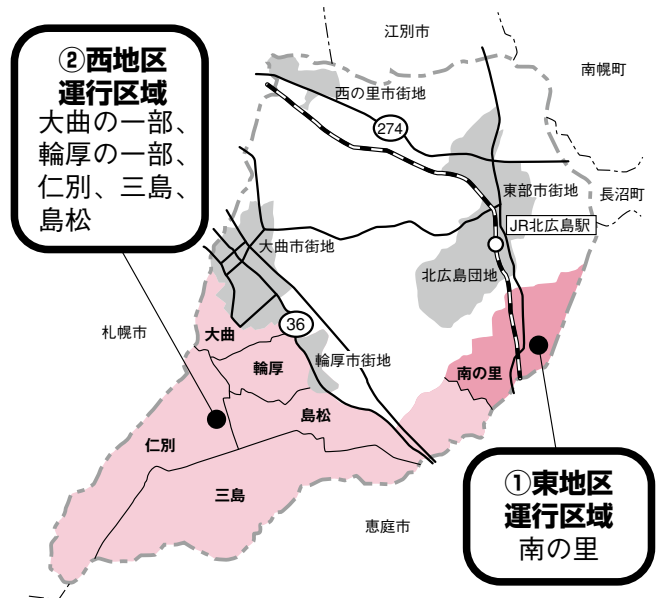
- ・複数の利用者が1台のタクシーに乗り合うことで、低料金での利用が可能となります。
- ・事前登録と利用する際は電話予約が必要となります。
- ・運行経路によって到着時間が変わります。
- ・運行時間、運行エリアが限定されます。

◆運行期間

H23年12月1日(木)～H24年2月29日(水)
 月曜日～金曜日の週5日(祝祭日及び年末年始(12月29日～1月3日)は運休)
 ※1日4便(9時、12時、14時、16時に市街地発)

- ★利用できる方：上記図面の①東地区(南の里)、②西地区(大曲の一部、輪厚の一部、仁別、三島、島松)にお住まいの65歳以上の方で、一人で乗降できる方
- ★運行区域：東地区の自宅⇄東部・北広島団地地区の市街地拠点(公共施設、商業施設、病院、バス停)
 西地区の自宅⇄大曲・輪厚地区の市街地拠点(公共施設、商業施設、病院、バス停)

図 実証運行の区域



※詳しくは、対象地域にお配りする資料をご覧ください。

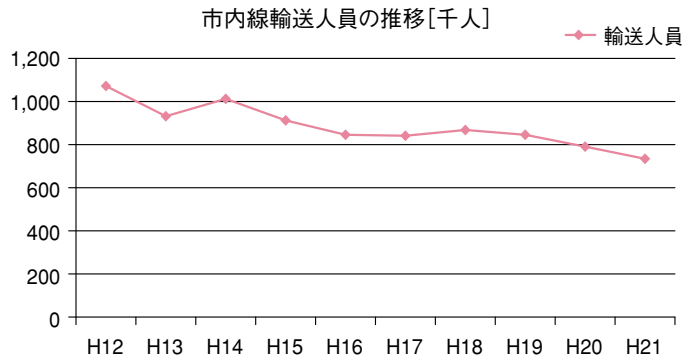
バス交通の現状

高齢社会の到来、環境への配慮という観点から、バス交通に期待される役割には大きなものがあります。また、より豊かな市民生活を送るためにも、バス交通の利便性の向上に対する市民の皆さんの期待もますます強くなっています。その一方で、マイカーの普及などで、バス事業者の経営環境はますます厳しくなっています。

◆市内路線バス輸送人員の状況

市内路線バス（市内完結路線）は、北海道中央バス(株)とジェイ・アール北海道バス(株)が運行していますが、利用者数は年々減少傾向にあります。

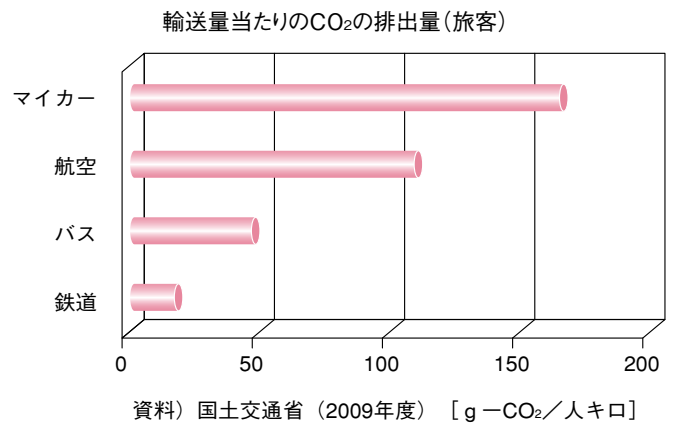
このまま減少傾向が進むと、バス事業者の経営環境は悪化し、バスの運行本数が減るなど、サービスが低下し、ますます利用されなくなる可能性があります。



◆バスを利用すると、どのようなメリットがあるのでしょうか？

一人を1km運ぶために排出するCO₂（二酸化炭素）は、バスの場合、マイカーの約1/3ですみます。マイカーの利用回数を減らし、バスを利用することで、CO₂の削減につながります。

市民一人一人の意識改革により、マイカーの利用を控え、バス等の公共交通機関を利用することは、地球環境にも優しい取組みと言えます。



バスをもっと利用しましょう！

北広島市の取組み

市では「北広島市地域公共交通総合連携計画」に基づき、「高齢者の日常生活の移動の利便性を確保するとともに、市民が利用しやすい交通体系を構築」するため、今後は下記の取組みを実施していきます。

■今年度の取組み

- ・乗合タクシーの実証運行（平成23年12月1日～平成24年2月29日、利用者アンケートの実施）
- ・バス路線マップ作成（道都大学のご協力をいただき、わかりやすいデザインを検討しています）
- ・無料送迎バス運行事業者と公共交通参画の協議

■来年度以降の取組み

- ・乗合タクシーの実証運行（夏季）
- ・地域交通レターの発行
- ・公共交通に関する学校授業の実施（小学校で公共交通に関する出前授業等を実施し、自動車による環境への影響や、事故のリスク、健康への害などについて考える機会をつくります）

発行／北広島市 問合せ／北広島市企画財政部政策調整課
 〒061-1192
 北広島市中央4丁目2番地1
 TEL:011-372-3311 内線685 FAX:011-372-3850
 Mail:seisaku@city.kitahiroshima.hokkaido.jp

